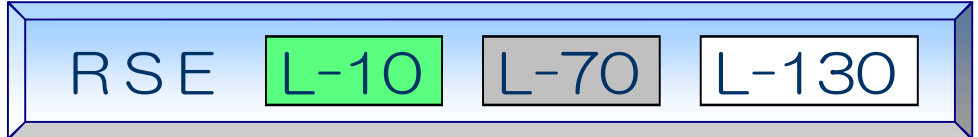




コンクリート打継面処理剤

型枠塗膜タイプ

コンクリート表面



目粗し完了面



鉄板型枠面 合板型枠面に
ローラーにて塗布



★ ヒーバウの概要

ヒーバウは液状のコンクリート打継面処理剤です、型枠に塗布すると速乾で塗膜を形成し、打設したコンクリートとの接触面を一時的に硬化を遅延させる塗膜タイプで、コンクリート打継面の目粗し面が簡単に形成出来ます。

★ ヒーバウの特徴

- 1.ヒーバウは液状で、塗膜は型枠への付着力が強く、その塗膜は非水溶性です。
- 2.ヒーバウは種類により色分けしている着色液体なので塗布面の識別が容易です。

L-10

L-70

L-130

- 3.塗布する面の型枠形状や方向に左右されません。

型枠の材質は金属をはじめ、木材、ゴム、プラスチックでも使用可能です。

- 4.ヒーバウは化学処理なので、チッピング工法のように骨材割れおよび浮きを発生させません。

★ ヒーバウの種類

品名・記号	液の色	洗出深さ(mm)	標準使用量(g/m ²)	荷姿
ヒーバウ L-10	グリーン	1.0~1.5mm	100~120 g/m ²	20 kg/缶
ヒーバウ L-70	グレー	2.0~3.0mm	100~120 g/m ²	20 kg/缶
ヒーバウ L-130	ホワイト	3.0~4.0mm	100~120 g/m ²	20 kg/缶

【使用上の注意】

本剤の処理性能の保持期間は、諸条件により変わりますので事前に洗出し深さ・種類の確認試験を行ってください。

RSE L-10

RSE L-70

RSE L-130

の使用方法

- ① ヒーバウは使用前に十分に攪拌してください。型枠にはローラー刷毛等で塗布してください。
- ② ヒーバウは薄めての使用はできません。
- ③ ヒーバウは着色液体なので塗布面と未塗布面の識別が容易です。
- ④ 塗布した面が乾燥したら(タッチフリー状態)、コンクリート打設が可能です。
- ⑤ 塗布後その塗膜面はアルカリ成分に反応しますのでコンクリート打設までは注意してください。乾燥後の放置期間はなるべく短くなるように、早期の打設を心がけてください。
- ⑥ 小分け使用して残った本剤は元缶に戻さないで別容器に保管してください。

RSE L-10

RSE L-70

RSE L-130

の使用例



①

① ヒーバウの塗布

使用前によく攪拌し、型枠の洗出し面にローラー刷毛等で均一に塗布する。
(目粗し施工面)



②

② コンクリートの打設

塗布面が乾燥(タッチフリー状態)後、コンクリートを打設する。
(打設時に塗膜面を傷つけないように注意する)



③

③ 型枠の脱型

なるべく翌日または、早期に脱型する。
脱型が遅れるほど洗い出し深さが浅くなります。

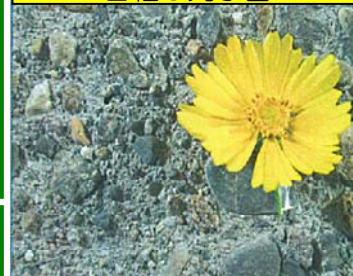


④

④ 高圧洗浄(目粗し)

高圧洗浄機等で表面の硬化遅延部分を洗い出す。
(高圧洗浄機が使用できない場合は電動ブラシや手動ブラシで処理し、除去スラッジを掃除機等で清掃する)

目粗し完了面



RSE L-10

RSE L-70

RSE L-130

【使用上の注意】

- ◎ 本剤は十分に攪拌しながら合板型枠、または鉄板型枠に塗布してください。薄めての使用はできません。
- ◎ 本剤塗布後、コンクリート打設までの放置期間は極力短縮してください。(場合によってはシートがけも必要)
- ◎ コンクリートを打設した翌日に脱型、洗い出しすると、最も深い洗い出し面(目粗し面)が得られます。
- ◎ 型枠を脱型したら、時間を経過させることなく洗い出して下さい。
- ◎ 本液剤は、缶の蓋を開けたまま放置すると硬化します。使用の都度、蓋をしっかりと閉めて下さい。
- ◎ 本液剤は、可燃性です。使用及び保管には十分ご注意ください。

記載事項について予告なしに変更することがあります。

【販売店】 **SKK 三信工業株式会社**

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-10-1 サクラビル2F

TEL : 03-3294-5131 FAX : 03-3294-5133

<http://www.sanshin-kogyo.co.jp>